

予算 特別号

令和4年度当初

変わる時代に
幸せを生きるまちづくり

新たなまちづくりの指針
「まちづくり構想 福知山」をもとに
令和4年度当初予算の主な事業を紹介します

令和4年度当初予算

人口減少・人口構造の変化や新型コロナウイルス感染症、デジタル社会、地球温暖化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。こうした状況を踏まえ令和4年度から取り組む「まちづくり構想 福知山」では、2040年の私たちの未来を予測して将来像を示し、それを実現するための9つの基本政策を組み立てました。

令和4年度は、コロナ禍の後の世界を見据えながら、変わる時代の中でも幸せを生きることができるまちを目指して取り組んでいきます。

問財政課 (TEL 24-7035・FAX 24-7023)

9つの政策で目指す、市民が幸せを生きるためのまち



市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、
ほどよい力加減で助け合うまち



市民一人ひとりが、その人なりの生きがい
を持ち、健やかで活動的なまち



市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、
温かく見送られるまち



市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、
自分らしく学びを深められるまち



市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を
守り、生かし、次世代につないでいくまち



市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、
地域産業の発展に貢献できるまち



市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、
多様な働き方が生かされるまち



市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、
共に育み、共に育つまち



持続可能な生活を支える基盤の整ったまち



まちづくり構想を推進する
市民会議を設置

予算額【約715万円】

自治基本条例に基づき、市民が「幸せを生きる」まちを目指して、これからのまちづくりの指針となる「まちづくり構想 福知山」を策定しました。

市民とまちづくり構想を共有するための広報や、構想を推進するための市民会議を立ち上げ、市民協働のまちづくりに向けた検討を行います。

「光秀マインド」「鬼」のPR活動

予算額【約3644万円】

関係人口などの拡大とシビックプライドの醸成を図るため、明智光秀の時代から受け継がれてきた福知山に息づくまちづくりへの挑戦心を表現する「光秀マインド」をコンセプトとしたPR活動を実施します。

また、「鬼」など明智光秀以外の地域ブランド育成のため、現代社会の関心に沿った形でのPR活動にも取り組みます。



市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、
ほどよい力加減で助け合うまち

まちづくり構想やスマートシティを推進

65歳以上のスマホ購入を補助
スマホの使い方講座充実も

予算額【合計約1850万円】

スマートフォンを持つと、情報入手しやすくなるほか、オンラインの行政手続きが利用できるなど、生活が便利になります。普及率が低い65歳以上の市民でマイナンバーカード所持などの要件を満たした人を対象に、一人あたり上限1万円のスマホ購入を補助。スマホの使い方講座も実施します。

令和3年度に実施し好評だったスマートフォンの市民講座では、個人のスキルに応じて三段階の講座を設け、内容の充実を図ります。

三和地域の2拠点を整備

予算額【合計約2億1183万円】

三和支所と三和荘の2拠点の利便性を高めるために施設の集約化を進めます。

図書館三和分館の三和支所への移転や、三和荘の体育館改修などを実施します。



三和支所



新型コロナウイルス感染症関連対策

ワクチン接種の実施

予算額【約3億2118万円】令和3年度の繰越を含む

新型コロナウイルス感染症対策として5～11歳が対象の小児用ワクチンと3回目のワクチン接種を引き続き実施します。



画像はイメージです

公立大の授業料減免を支援

予算額【約1643万円】

経済的に困窮する福知山公立大学の学生に対する授業料減免のための費用を公立大へ交付します。

非課税世帯などへの給付金

予算額【1億5333万円】

令和3年度から住民税非課税世帯などに1世帯10万円を給付しています。令和4年度は約1500世帯への給付を予定しています。

**分散学習に必要な特別教室に
エアコンやネット環境を整備**
予算額【合計約1億5336万円】

コロナ禍への対応と教育環境のさらなる改善を図るため、令和7年度までの4年間で、分散学習に必要なとなる小中学校の音楽室などの特別教室にエアコンを整備します。今年度は6つの小中学校で設計業務に着手します。

また、児童生徒に一人一台配備したタブレット端末の活用を進めるため、特別教室や体育館のインターネット環境を整備します。

**本市独自の制度で
就学援助家庭の学びを支援**
予算額【約1113万円】

経済的理由により衛生用品の購入や学びの機会を制限せざるを得ない家庭があります。

児童生徒の安全で豊かな未来を支援するため、就学援助家庭を対象に本市独自の支援制度を創設します。制度では、一人あたり年間1・2万円の定額給付を実施します。

中学生が国際感覚を学ぶ

予算額【約591万円】

国際感覚を持ったグローバルな人材を育成するため、次代を担う中学生を対象に短期留学を実施します。コロナ禍の状況を踏まえ、今年度は国内で実践英語学習や異文化交流などを実施します。

地元のジビエを学校給食で

予算額【約88万円】

学校給食を通して地元食材や多様な食文化を経験し、理解を深めるために、シカやイノシシなどのジビエを使用した献立を年2回提供します。食材は安心・安全なジビエの認証施設で適切に処理された地元産を使用します。

電子書籍を

5000タイトル追加

予算額【2454万円】

書籍数1万8000タイトルでオープンしたふくちやま電子図書館に、さらに5000タイトルを追加して蔵書を拡充します。



市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、
自分らしく学びを深められるまち

何歳でも 自分らしく学べるまちへ



シカ肉のカレー給食



留学のイメージ



福知山公立大学の授業の様子



電子図書館を活用した授業の様子（遷喬小学校）



今年度大規模改修する日新地域公民館

**午前開館やネット環境整備で
地域公民館がより便利に**
予算額【合計約2612万円】

地域公民館・体育館を希望の多かった午前開館に統一します。また、各地域公民館のインターネット環境を整備して利便性を高めます。

地域公民館を大規模改修・新築
予算額【合計約2億589万円】

建築から約40年以上経過した地域公民館・体育館を、地域福祉・住民自治・避難所などに活用できる安心・安全な地域の拠点施設として改修。バリアフリー化を進め、太陽光発電なども設置します。

今年度の地域公民館の改修事業では、桃映の新築に向けた事業や日新の改修工事、六人部の設計業務を実施します。

各公民館の改修予定

公民館	設計 (年度)	工事 (年度)
日新	令和3	令和4～5
六人部	令和4	令和5～6
川口	令和5	令和6～7
成和	令和6	令和7～8

**人工知能搭載の学習教材で
教育手法の研究開発を推進**

予算額【約516万円】

福知山ラーニングイノベーションプロジェクトでは、児童生徒に一人一台配備したタブレット端末で蓄積した学習データを福知山公立大学で分析し、ICT（情報通信技術）を活用した本市ならではの教育を目指しています。

ICTを活用した新たな教育手法の提案や研究などを公立大に委託して実施します。

**大学の文理連携を生かした
地域との協働活動などを推進**

予算額【合計約6億344万円】

大学を生かした地域創生の先端事例となる「福知山モデル」の具現化を目指して、教育研究の充実を図るとともに、情報学部と地域経営学部の知見を生かした人材育成などを推進します。

また、文理連携による地域協働型教育研究に取り組み、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を目指します。

EV充電設備を3か所設置

予算額【合計約8050万円】

脱炭素社会の実現を目指し、電気自動車（EV）の普及に向けた環境整備のため、市役所本庁舎、大江支所付近、三段池公園の市内3か所に急速充電設備を設置します。

また、公用車は、災害時に非常用電源としても活用できる電気自動車などへの計画的な更新を進め、今年度は4台を更新します。

燃やすごみ袋に

植物由来原料を配合

予算額【約2191万円】

燃やすごみ袋の製作において、トウモロコシなどの植物由来の原料であるバイオマスプラスチックを25%配合します。これにより、ごみの焼却処分時に温室効果ガスの排出を抑制することができます。なお、燃やすごみ袋の価格に変更はありません。

起業やECサイト構築を支援

予算額【合計約5227万円】

先進的な産業の集積を目指して昨年度実施したNEXT産業創造プログラムでは、新たに9つの新規事業の創出につながりました。今年度は同プログラムの継続実施に加え、新たに修了者の起業などの経費を支援するため最大150万円の補助を行います。

また、非対面・非接触の販路拡大を支援するため、新たにインターネットで商品を販売するECサイトの構築などに対して、上限15万円の経費補助を実施します。

デジタル活用で

総額5億円の消費喚起

予算額【1億4900万円】

新しい生活様式の実践として、市内の消費喚起策をデジタルポイントで実施します。スマートフォンなどを活用し、一人2万円のチャージ金額を上限に25%のプレミアムポイントを付与します。ポイントは市内の登録店舗での決済に利用できます。



スマートフォンによる決済のイメージ



「NEXT産業創造プログラム」の新商品でクラウドファンディングを実施した受講者と大橋市長



市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

起業や農業の販路拡大を支援



令和3年度に実施した「ふくちやまの工エもん食事会」でふるまわれた認定品を使用した料理



有機JAS制度とは、農畜産業による環境への負荷を低減した持続可能な生産が行われていることを認証する制度。有機農産物の場合は、化学合成肥料および農薬の不使用を基本に栽培、などの基準がある。



市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち

豊かな自然や環境を守る



バイオマスマーク

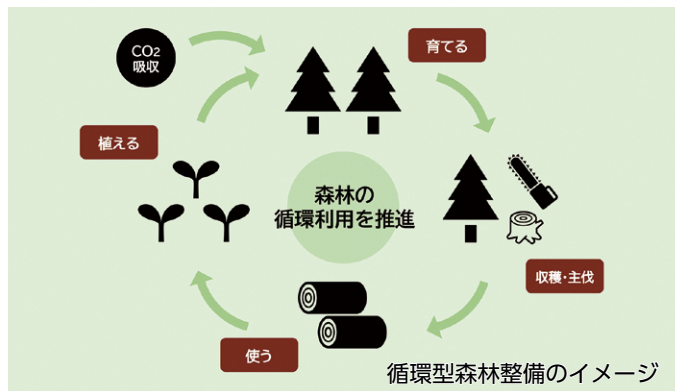
バイオマスマークとは、生物由来の資源を活用し、品質や安全性が規格などに適合している環境商品の目印です。



急速充電設備のイメージ



市民体育館



循環型森林整備のイメージ

夜久野地域で実施 循環型森林整備モデル事業

予算額【約2261万円】

夜久野地域において、モデル的に地域と協働し、温室効果ガスの吸収源でもある森林の循環型整備に着手します。

また、その実施内容や森林資源の情報を収集し、具体的な森林整備の方向を示す「（仮称）福知山市森林ビジョン」を策定します。

市民体育館などをLED化

集会施設LED化補助を拡充

予算額【合計5800万円】

消費電力の抑制や環境負荷の低減などを図るため、福知山城や市民体育館、佐藤太清記念美術館などの公共施設の照明を、LED照明に切り替えます。

また、地元で管理する集会施設などのLED化改修について、補助率を3分の2に引き上げ支援を拡充します。

環境にやさしい米づくりや 農産物の販路拡大などを支援

予算額【約483万円】

コロナ禍や米価下落などの厳しい状況において、農業者の生産意欲や所得の向上を図るため、環境にやさしい有機JAS認証の新規取得に対して4万円を上限に助成します。有機JAS認証米や特別栽培米の作付けに対しては、販路開拓などに取り組む期間として最長3年間、支援金を交付します。

また、ICTを活用したスマート農業や農業経営などの講座を開催するほか、農業者が取り組む販路拡大に対して上限25万円の補助金を交付するなど、稼げる農業を支援します。

工エもんの情報発信を強化

予算額【約731万円】

福知山ならではの逸品を認定した「ふくちやまの工エもん」の情報発信に取り組むため、鑑定会に加えて、新たに市内での直売や京阪神の料理人などを招いた産地見学会などに取り組みます。



市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、
健やかで活動的なまち

文化活動や健康づくりを推進

新文化ホールの基本構想や計画の策定へ 予算額【約1335万円】

厚生会館は昭和37年の建設から60年、平成13年の大規模改修からも21年が経過し、建物の老朽化などが課題となっています。

文化活動などの拠点として、新たな文化ホールの建設に向けた基本構想や計画の策定に着手。有識者や関係団体などで構成する検討委員会を設置し検討を進めていきます。



健康アプリなどで健康増進を応援 予算額【約2004万円】

本市では、市民一人ひとりが活動的で、社会的・身体的・精神的な充実感に満ちているまち「アクティブシティ」を目指し、高血圧症をはじめとした健康課題への対応に取り組んでいます。

一日の歩数や健康関連のイベント参加、健（検）診の受診などに対してポイントを付与する健康アプリを新たに導入し、健康意識をさらに高めます。たまったポイントは市内登録店舗などで利用できるようにします。

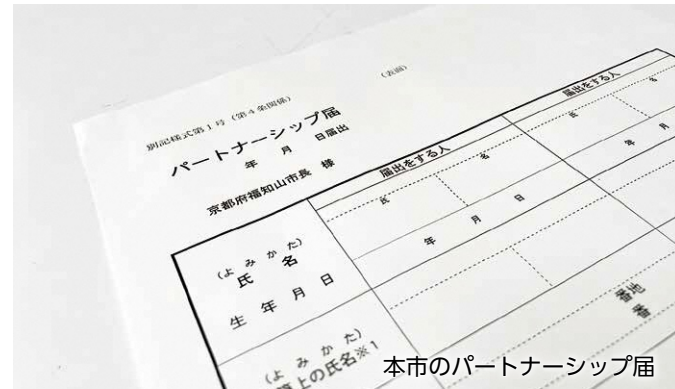


子どもの1000人のうち1・2人は、生まれつき耳の聴こえにくさがあるといわれています。新生児聴覚スクリーニング検査は、聴こえにくさの早期発見・早期支援のための大切な検査です。検査費用の一部公費助成で経済的負担を軽減し、すべての子どもが検査を受け、適切な支援の機会が確保できるよう取り組みます。

新生児の聴こえの検査費を助成 予算額【299万円】

多様な性を尊重し、真に人権が尊重されるまちを目指して「福知山市みんなの多様な性を尊重する条例」を4月1日に施行しました。動画配信や講演会、リーフレット作成などによる啓発活動に取り組みます。

多様な性を尊重する条例施行 予算額【約278万円】



本市のパートナーシップ届



多様な性を象徴する「レインボーフラッグ」



市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、
共に育み、共に育つまち

多様な生き方ができるまちへ

本市に府中北部共同運用の 消防指令センターを整備

予算額【約10億3693万円】

本市の消防防災センターにおいて、京都府中北部の6消防本部が共同で運用する消防指令センターの整備工事に着手します。

令和6年4月からは、各消防本部が管轄する市町の119番通報を一括受信できるようになるだけでなく、災害情報の一元化・共有化を行うことで、より災害に強い消防防災体制を構築します。主な財源として、各消防本部からの負担金（合計約8億4710万円）を活用します。



現在の消防指令センター

消防団の処遇改善へ 年額報酬や出動報酬などを拡充

予算額【約1億4523万円】

地域防災を担う消防団は、自然災害などへの対応においても重要な役割を果たしている一方で、団員数の減少により負担が大きくなっています。消防団員の処遇を改善するため、新たに出動報酬を創設するとともに、年額報酬を増額します。

また、視認性・耐水性の高いレインウェアなどの安全装備の充実を図ります。

年額報酬		
階級	班長	団員
改正前	31,500円	22,500円
↓	+5,700円	+14,100円
改正後	37,200円	36,600円



三段池公園で 多世代交流スペースの創出へ 予算額【約654万円】

三段池公園の施設を活用し、子育て世代を中心とした多世代交流の拠点を創出します。交流スペースの設置や親子向け食育教室の開催などで子育て支援と多世代交流を進めます。

保育士支援拡充で人材確保へ 予算額【約5984万円】

共働きなどで保育の需要が高まる中、保育施設での働きやすさを高め、保育人材の確保を目指しています。新設する支援制度では、新たに市内の保育所などに勤務する保育士を対象に、採用後3年間で最大60万円を支給します。

保育所運営を支援 予算額【約合計28億3972万円】

本市の総園児数の9割を保育している民間保育園への委託や認定こども園への給付などを行い、保育環境を整備します。



市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、
多様な働き方が生かされるまち

多様な 働き方を応援

障害のある人の雇用や定着を多方面から支援
予算額【約947万円】

障害のある人の雇用促進などに取り組み、障害者雇用1000人のまちを目指します。

新たな制度では、就労のマッチングを強化するとともに、新規就労者に支度金として一人あたり3万円の支給や、障害福祉サービス事業所へ製品づくりのアドバイザーの派遣やECサイト開設などの支援を行います。また、京都府と連携し、雇用主となる企業向けの支援制度を拡充します。



障害者雇用促進セミナーの様子

情報人材の育成に向けてDX講座を拡充
予算額【300万円】

本市が福知山公立大学で実施する教育プログラム「シニアワークカレッジ」では、シニア世代を中心とした社会人を対象に、生産性向上や情報人材の育成を目指して、DX（デジタルトランスフォーメーション）などを学ぶ機会を提供しています。

今年度は新たに動画制作やデータサイエンスなどを学ぶコースを追加して講座の充実を図ります。



動画制作のイメージ



市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、
温かく見送られるまち

介護支援や 医療体制を強化

介護事業所で勤務する人に定着支援金を支給
予算額【1346万円】

高齢化が進み介護人材の確保が課題となっています。市外からの人材確保で実施していた家賃補助を組み替え、新たに市内・市外在住を問わず市内の介護事業所で継続勤務する人に3年間で最大60万円の定着支援金を支給し、介護人材の掘り起こしを図ります。

高齢者の見守り支援を拡充

予算額【約2708万円】（介護保険事業特別会計）

一人暮らし高齢者の増加や地域のつながりの希薄化などで、いつまでも安心して暮らしていくための環境づくりが課題となっています。要介護1以上などに限定していた緊急通報などの機器設置について身体要件をなくすとともに、近隣協力者の登録要件の見直しなどを行い、一人暮らし高齢者などの見守りの仕組みを整備します。

医療機器や医療体制を強化

病院事業予算総額【173億9860万円】

地域の中核病院として先進的な医療が行えるよう、がんの組織内照射や白内障手術などの機器の更新を行います。大江分院では、人口減少と高齢化が進む地域の実情を踏まえて、一般病床から地域包括ケア病床への転換や、遠隔診療を含めた在宅医療の充実などを行い、地域密着型病院として引き続き運営していきます。



大江分院での遠隔診療の様子



持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

水害対策や市営住宅など 生活基盤を整備

**大江町河守～公庄地域で
内水対策のモデル事業を推進**
予算額【3億3505万円】

由良川流域の内水対策のモデル地区と位置付けられている大江町河守～公庄地区において、調節池や排水ポンプ施設などの整備を進めます。令和5年の出水期には、整備する排水ポンプで1秒間に3トンの排水機能確保を目指します。



排水ポンプ施設の整備状況

老朽化したつつじが丘・向野団地を統合建替
予算額【約3億1159万円】

耐用年数を超過し、老朽化している府営・市営住宅つつじが丘団地および市営住宅向野団地を統合して建替えを行い、安心・安全の確保や長期的な維持管理コストの削減などを図ります。



新つつじが丘団地の整備イメージ

下六人部地域の浸水対策を総合的に実施
予算額【4660万円】

平成26年8月豪雨などにより浸水被害が発生した下六人部地域の浸水対策として、道路排水施設、農業用施設、下水道雨水排水施設の整備などを総合的に実施し、浸水被害の軽減を図ります。



下水道雨水排水管を整備する道路

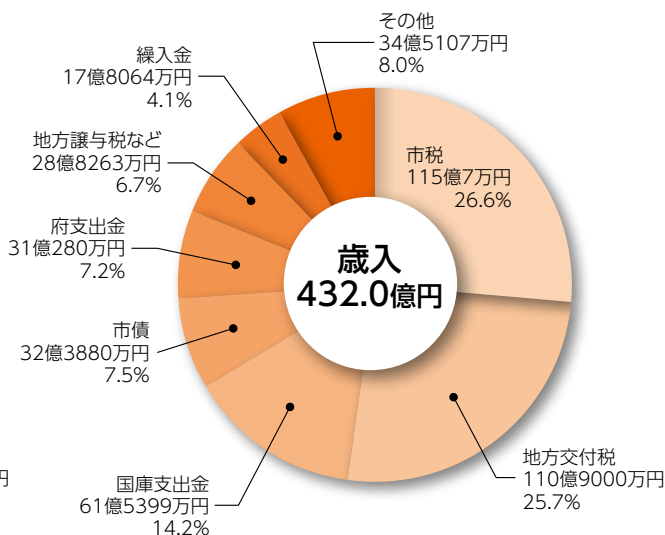
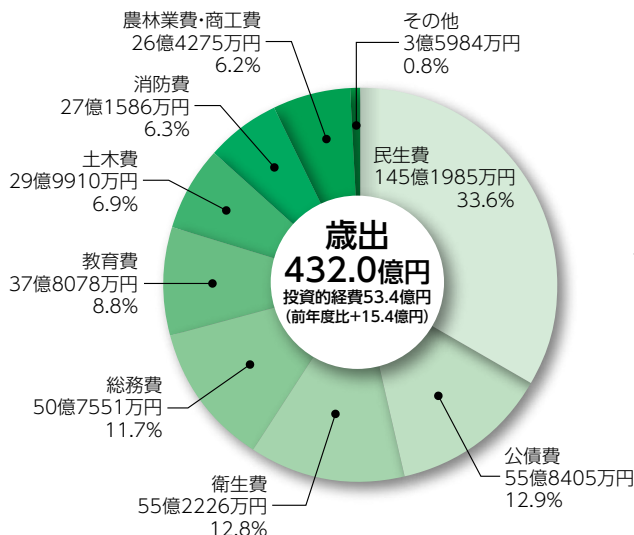
危険箇所の改修などで安全を確保
予算額【5000万円】

自治会要望による危険箇所の改修などの安全対策を実施します。また、視界の妨げとなる街路樹は、伐採して安全を確保していきます。

幸せを生きるまちづくり予算 新規事業などにも積極的に予算配分

令和4年度
当初予算概要

一般会計当初予算の歳入歳出



公民館改修など未来への投資 一般会計は過去最大の432億円

新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、「まちづくり構想 福知山」を推進するため、新規・拡充事業にも積極的に予算を配分しました。一般会計では、公民館の大規模改修や市営住宅の建替えなど、未来を見据えた大型事業への投資により、前年度当初比で約31億円増加。総額は過去最大となる432億円となりました。

特別会計では、国民健康保険事業や介護保険事業、後期高齢者医療事業などで3.7億円増加となる総額196.4億円となりました。

企業会計では、水道事業5.7億円、下水道事業12.2億円、病院事業6.2億円など総額24.1億円増加し、全体で296.3億円となりました。

全会計の総額は、58.8億円増加となり、当初予算では過去最大の924.7億円となりました。

当初予算の全体像

会計	令和4年度	令和3年度	前年度比
一般会計	432.0億円	401.0億円	+7.7%
特別会計	196.4億円	192.7億円	+1.9%
企業会計	296.3億円	272.2億円	+8.8%
合計	924.7億円	865.9億円	+6.8%

全基金残高は10億円減少の99.8億円も 財源調整基金は取り崩さずに予算を編成

全基金残高は、前年度比で約10億円減少の約99.8億円の見込みです。合併算定普通減対策基金は第6次行政改革での予定額約2億円を取り崩すほか、繰上償還の財源として減債基金を約4億円を取り崩します。一方で、必要な投資を厳選しつつ、国や府の補助金活用などで財政調整基金の取り崩しは行わずに予算を編成しました。

市債残高は前年度比3.3億円減少

全会計の実質的な市債残高は約398.8億円で、前年度から約3.3億円減少の見込みです。市民一人あたりでは、0.4万円減少の52.1万円となります。

5年間の新たな行政改革大綱を策定 時代の変化を捉えた行政経営の確立へ

令和4～8年度の5年間の新たな行政改革大綱を策定しました。情報通信技術の活用などで業務効率化を図り、多様な主体との協働で地域課題の解決に取り組みます。また、経常的な支出額の抑制や、財源対策基金残高の維持により財政の健全性を維持します。